

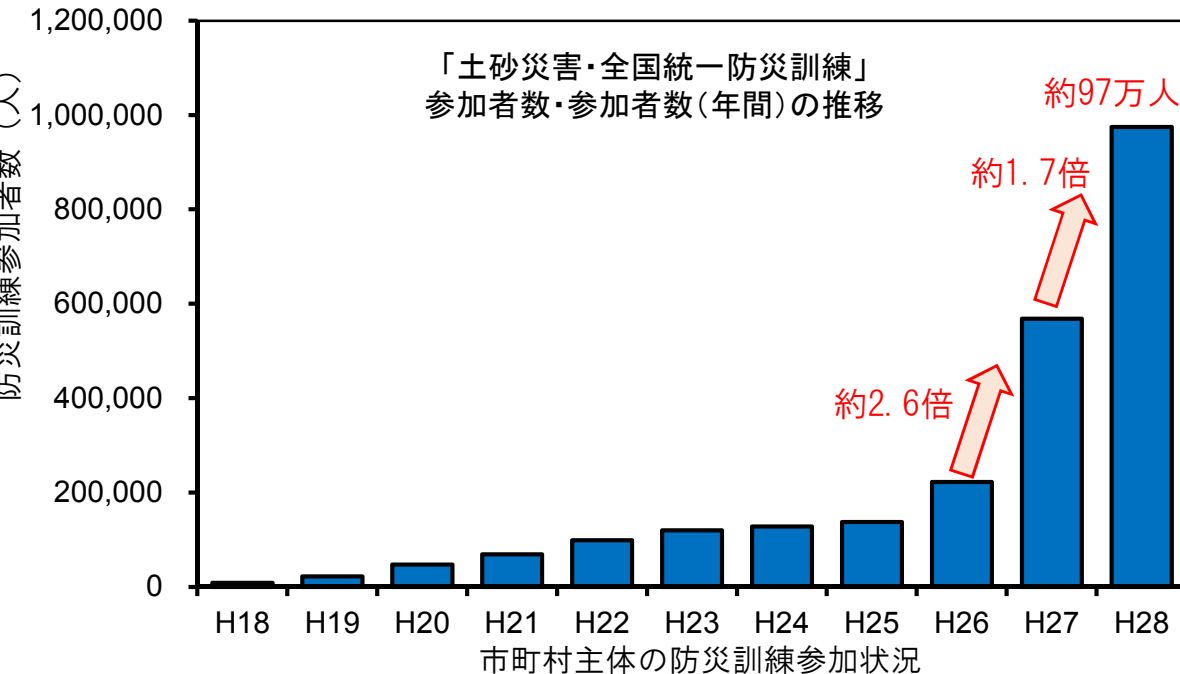
# 平成28年「土砂災害・全国防災訓練 ～普段の備えが、命を守る～」の実施結果

・平成26年8月の広島市での土砂災害を教訓に、全国の土砂災害警戒区域等の住民に対し、出来るだけ多く参加を呼びかけ、避難訓練、情報伝達訓練等を実施。平成28年は、全国で過去最大の約97万人(約1,300市町村)が参加しました。

## 平成28年総合防災訓練大綱より

6月(土砂災害防止月間)を中心に、関係地方公共団体等と連携し、全国の土砂災害警戒区域等で、住民参加による避難訓練、情報伝達訓練等を実施する。

- ◆実施日 平成28年6月5日(日)・土砂災害防止月間(6月) ほか
- ◆実施主体 市町村、都道府県、消防庁、国土交通省
- ◆参加機関 住民、自主防災組織、砂防ボランティア、警察、消防、市町村、都道府県、国 等
- ◆訓練のポイント
  - ①より多くの住民等が参加した実践的な避難訓練等の実施
  - ②土砂災害警戒情報を活用した避難勧告等の伝達訓練
  - ③配慮者、要配慮者利用施設の管理者、避難行動要支援者等による避難訓練
- ◆実施規模 H26の広島市での土砂災害を教訓に、全国の土砂災害警戒区域等の住民に対し、出来るだけ多く参加を呼びかけ、避難訓練、情報伝達訓練等を実施



## 主な実施内容

- ・災害時要援護者を対象とした避難支援の確認や搬送訓練を実施。
- ・住民の避難誘導訓練及び砂防ボランティアによる土砂災害危険箇所点検訓練を実施。
- ・訓練にあわせて、地域住民とハザードマップ等を用いた避難行動の確認。



自主防災組織を主体とした避難訓練  
(広島県広島市)



ハザードマップを用いた避難行動の確認  
(岡山県新庄村)



要配慮者への避難説明  
(神奈川県湯河原町)



要配慮者利用施設と連携した防災訓練  
(福島県いわき市)